

地域住民の防災力向上

～平時からの取り組み～

昨今多発する地震や集中豪雨等による災害から地域住民を守るためには、耐震や治水対策といったハード対策だけでは限界があります。過去の大規模災害では、住民一人ひとりの自助と地域における共助が人命救助等に大きな役割を果たしました。

この研修では、地域住民の防災力向上のために、平時から行政がどのような取り組みを進めていくか、地域の連携の必要性も含めて考えます。

研修のポイント

- 講義や事例から、地域コミュニティにおける防災活動に対し、行政がどのように支援し連携していくか、防災教育の必要性や地区防災計画の活用にふれながら学びます。
- 演習をととして、平時からできる減災活動について考え、その手法を学びます。

開催要領

日程	平成27年6月1日(月)～6月3日(水) (3日間)	
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分	
対象	市区町村等の消防・防災担当の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。	
募集人数	50人	募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。	
経費	10,500円	左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成27年4月15日(水)まで	※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応いたします。
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。	
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。	
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。	

【問い合わせ先】

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp

6月1日
月

11:00～12:00

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

(途中休憩あり)

講義 **地域における防災対策の構築に向けて
～災害のリスクコミュニケーション戦略～**

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 **矢守 克也** 氏

自然災害から命を守るためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、平時から災害に対する心構えを持つことが重要です。

本研修の基調講義として、住民主導での防災体制構築を促すための、住民と行政との効果的なリスク・コミュニケーションのあり方について、各地での実践事例を交えながらお話しいたします。

15:50～17:00

事例紹介 **興津小学校地域ぐるみ防災活動**

高知県四万十町危機管理課 主査 **井上 義之** 氏

コーディネーター

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 **矢守 克也** 氏

沿岸部である高知県四万十町興津地域で、自主防災組織と興津小学校が連携し地域が一体となった防災活動に、京都大学防災研究所の協力も得て取り組む事例と、町の取り組みについてご紹介いただきます。

17:30～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

6月2日
火

9:25～14:00

(途中休憩あり)

演習 **まとめ・意見交換**

防災意識を高めるために

～ゲーム型教材 クロスロードの実践～

公益財団法人 神戸都市問題研究所主任研究員

神戸クロスロード研究会 **柿本 雅通** 氏

阪神・淡路大震災における神戸市職員の災害対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」は、地域での防災学習教材として広く取り入れられています。

この演習では、ゲームを通して、災害対応の判断の疑似体験やグループにおける意見交換等により、日頃から災害時の対応を想定しておくことの重要性について考えます。

また、午後からは、地域住民向けに実施している防災啓発や訓練等の情報を受講者間で共有し、防災意識の向上を図るだけでなく災害に強い人材育成について考えます。

14:15～17:00

(途中休憩あり)

講義 **地域全体の防災力を向上させるために**

法政大学大学院講師・板橋区議会事務局長 **鍵屋 一** 氏

自治体が中長期的に減災を進めるには、地域特性にあわせた減災目標の設定と、その達成に向けた戦略が必要です。

自治体の防災担当職員としての経験をお持ちの講師から、現場目線での考えをもとに、地域防災計画や地区防災計画等にもふれていただきながら、地域全体の防災力を向上するための戦略についてお話しいたします。

9:00～10:30

講義 災害に強い人と地域をつくる

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏

地域防災において、自主防災組織や消防団等は大きな役割を担っています。しかし、実態は組織が形骸化していたり、活動がマンネリ化しているといった状況です。

そこで、地域住民も含めた多様な防災の担い手が連携し、平時から継続的に防災活動が展開できる仕組みづくりや方法についてお話しいたします。また後半には、災害図上訓練DIGを活用した取り組みについてもご説明いたします。

10:50～13:50
(途中休憩あり)

演習 災害図上訓練DIGケース①、②

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏
NPO法人ぼうぼうネット 事務局長 山崎 隆弘 氏

災害図上訓練DIGの手法を用いて、起こりうる災害像をイメージしながら地域の特徴や課題を地図から読み取り、必要な対応を具体的に考える訓練を行います。

※DIG (Disaster Imagination Game) とは…

地震や風水害などの災害が起きた時にどのような被害が発生するかを地図上で想定し、対応と備えを住民や自主防災組織、消防団等に想起させる防災ワークショップの一つです。これは、単に防災意識を高めるだけに用いるのではなく、地域防災を具体的に進めるために「ではどうすればいい?」という地域の多くが抱える課題を解決するための処方箋づくりができる手法です。

13:50～14:20

まとめ・ふりかえり

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏

これまでの研修をふりかえり、いかに平時からの取り組みが必要かについて考え、研修のまとめをしていただきます

14:20～14:30

閉講・事務連絡

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。また、講師の先生方のご所属等については、平成27年3月18日現在の内容及び職名でご案内しております。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。

読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

夏季における軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月1日から10月31日まで)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所までの交通のご案内

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



【研修所の所在地】



FAXでのお申込みは矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研 修 名 及 び 時 期	地域住民の防災力向上～平時からの取り組み～ 平成27年6月1日(月)～6月3日(水)(3日間)					
市 区 町 村 コ ー ド 番 号						※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例：12345-6の場合、123456と記入)
団 体 名				都 道 府 県	市 区 町 村 組 合	
所 在 地 (受講決定) 通知送付先	〒			申込手続の 担当課名		
				担当者名		
				電話番号		
				FAX番号		
				e-mail アドレス		
受 講 者	所 属					
	役 職 名					
	職階 (○印を記入)		1 部長級 2 課長級 3 課長補佐級 4 係長級 5 主査級 6 主任・主事・技師等級 (自治体職員の方のみ記入してください。) (不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。)			
	ふりがな					
	氏 名					
	年 齢 (研修開始日現在)		歳	性 別	男 ・ 女	
	本研修関連職務の通算経過年数（研修開始日現在）			年 ヶ月		
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。 平成 年 月 日 団体の長の職 氏名 全国市町村国際文化研修所学長 あて 公印省略可						

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部 FAX.077 (578) 5906